

ア フ リ カ 地 域 研 究 会



第210回

アフリカでケアを考える

西 真如

(京都大学グローバル生存学ユニット特定准教授)

5月21日(木)

15:00-17:00

京都大学稲盛財団記念館3階
中会議室

アフリカの人々にとって、他の誰かを「ケアする」とはどのような経験なのだろうか。東アジア、北米、欧州といった「北の」諸国では、とりわけ医療と福祉の分野において、複雑で大がかりな技術と制度が築かれてきた。それは人類史の上で前例のないケアの技術的・制度的発展であると考えて良いだろう。これに対してアフリカの人々は、「北の」諸国とは異なる条件の下で異なるケアの関係を営んできたように思われる。この報告では、アフリカにおけるケアの条件と実践に関するいくつかの先行研究や、エチオピアにおける子育てや高齢者ケアの事例を手がかりとして、アフリカ社会におけるケアの営みについて考えたい。



第211回

越境する障害者

—アフリカ熱帯林に暮らす障害者の民族誌—

戸田 美佳子

(国立民族学博物館文化資源研究センター機関研究員)

H26年度京都大学アフリカ研究出版助成記念講演、
H26年度総長裁量経費(若手研究者に関する出版助成事業)



アフリカではこれまで、障害を「呪い」や「罪」と結びつけて考えるために、障害者が外部に対して隠蔽されているという「隠された障害者」像が報告されてきた。本発表では、カメルーンの熱帯林に暮らす障害者がいかに生活環境や社会的境界を横断しながら、日々の生活を確立しているのか、その様に焦点を当てる。障害者と周囲の人びとが、たとえ互いの状況は等しくなくても、「一人前」として相手に対せるような社会のあり方をおして、私たちの豊かな共生への可能性を示していきたい。



6月18日(木)

15:00-17:00

京都大学稲盛財団記念館3階セミナー室(318)



H26年度京都大学アフリカ研究出版助成記念講演、
H26年度総長裁量経費(若手研究者に関する出版助成事業)

第212回

変わりゆくアフリカの 都市と農村

—ザンビア農村社会の変容と人びとの流動性—

伊藤 千尋

(横浜市立大学大学院都市社会文化研究科
客員研究員)

アフリカ農村部に暮らす人びとは、自然環境変動や市場自由化と対峙するなかで、非農業活動や都市への出稼ぎ等を組み合

7月16日(木)

15:00-17:00

京都大学稲盛財団記念館
3階中会議室

わせることによって生計を成り立たせている。本発表では、ザンビア南部農村の生計活動にみられる変化が、個々の世帯による主体的な営みとしてだけではなく、都市の動態(特に近郊中小都市の経済構造の変化)との相互作用のなかで起こっていることを提示する。これを通じて、現代のアフリカにおける都市-農村関係の一端を考察するとともに、今後も人口増加が予測されるアフリカにおいて、都市と農村を所与の領域・部門としてではなく、人と資本のネットワークとして柔軟にとらえることの重要性について考えたい。



参加無料
申込不要